

市議会だより

9月定例会

令和6(’24)年11月1日発行



「野球って楽しいよ!」

撮影者 島田 純子 様
撮影場所 城山公園

主な内容

- ◎9月定例会
議案審議(決算審議等)
と採決結果 2~4ページ
- ◎一般質問(15人)
5~12ページ
- ◎表紙の写真を募集
12ページ
- ◎議会からのお知らせ
編集後記ほか 13ページ
- ◎議会報告会のお知らせ
14ページ

◆ 9 月 定 例 会 日 程 ◆

- 8月 30日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び評決
- 9月 4日 一般会計歳入決算質疑
- 5、6日 総務常任委員会
- 9、10、11日 民生経済常任委員会
- 12、13日 建設文教常任委員会
- 17日 一般質問(細谷・山中・岩崎・渡邊光子・砂川)
- 18日 一般質問(渡邊広美・浦田・榊・須山・近本)
- 19日 一般質問(糸井・渡辺まや・にいつま・北村・江森)
- 26日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会(所管事務調査)の委員長報告、市長提出議案(決算の認定について)の総括質疑、討論及び表決、閉会

9 月定例会 議案審議

令和6年9月定例会は、8月30日から9月26日まで28日間開催されました。
今定例会では、市長提出議案17件が提案され、審議されました。

令和5年度一般会計・特別会計・事業会計歳入歳出決算 について 認定となりました

一般会計から特別会計、事業会計の歳入歳出決算の認定にあたり、総務・民生経済・建設文教の各常任委員会が、合計6日間にわたりそれぞれの所管事務について慎重審議を行い、執行部に対し次の18項目について指摘しました。なお、その経過及び結果は定例会最終日に報告され、反対討論がありましたが、採決の結果認定となりました。

総務常任委員会からの指摘・要望事項

- 指定管理者については、事業やイベントの企画や案内等、広く市民が関心を持てるような取組を求める。また、コスト削減を追求する余り、人件費が過度に抑制されないよう、提供するサービスに見合った人員の適正配置を指導されたい。
- 桶川の魅力を引き出し、地場産品を幅広く伝えられるよう、ふるさと納税委託業者の検討を求める。
- おけがわ魅力発信大使の役割や効果が不明確であるため、役割の再確認を行い、大使に対し、具体的な活動内容を示すなど、大使が積極的に活動できる環境づくりを求める。
- 男女共同参画社会の実現には、男女の地位の不公平感の解消やワークライフバランスの推進が課題である。女性活躍社会に実質的効果を上げるために、取り組む事業を増やし、予算化することを求める。
- 今年度の予算は過去最高額を記録したが、人口は減少傾向にあり、高齢化率の上昇に伴い扶助費も高額になっている。
社会変化を捉え、次世代が安心して暮らせる持続可能なまちづくりに向けた財政運営に努めること。

民生経済常任委員会からの指摘・要望事項

- 電気代の高騰が見込まれるので、対策に取り組むこと。
- 高齢者人口が増える2040年を見据え、既存の高齢者向け事業の予算を再考し、縮小を含む見直しを行うこと。
- 家庭の経済状況に影響されることなく子どもたちを育てられる施策に取り組むこと。
- 支援が必要な子どもや親へ、子ども食堂、フードバンクへ繋げる対応の強化を行うこと。
- 保育所入所のミスマッチが改善されているが、更なる改善に努めること。
- 新型コロナワクチンの健康被害の現状を注視し、市民の命と生活を守るため、医療機関との意見交換など情報の収集に努めること。
- 医療費の増大を抑制するため、マイナンバーカードの仕組みを活用した医療費抑制について取り組むよう検討すること。《特別会計》
- 介護サービスについて、自立した生活を送るための施策を充実させること。《特別会計》

議案審議

建設文教常任委員会からの指摘・要望事項

- 木造住宅耐震化事業について、市内の耐震化状況の実態把握に努め、施策に活かしていくことを求める。
- 道路や街路樹の維持管理は計画的に行い、温暖化防止に配慮するとともに、安全管理に努めることを求める。
- 都市公園の整備及び管理にあたっては、公園施設の健全度調査の結果や今後の整備計画を指定管理者と共有すること等により、利用者の事故防止に努めることを求める。
- 小中学校のいじめ認知件数が大幅に増加している。相談事業の充実も含め、子どもの人権に配慮した施策の実施に努めることを求める。
- 学校給食業務において、地元農産物や有機農産物の積極的な使用を求めるとともに、牛乳廃棄処分量を減らすよう努めることを求める。

条例等

各常任委員会に付託された条例等の審査の際の質疑について、主なものは次のとおりです。

指定管理者の指定について（道の駅べに花の郷 おけがわ）

指定管理者となる団体株式会社ベニネクスト

問 各事業者の選定が行われているが、市内の農産物事業者の動向について伺う。

答 6月から農産物の出荷に向けた個別相談会を計7日間開催しています。これまで、160名の参加があり、市内の人は123名でした。

問 指定管理者の倒産や撤退が起こった場合の運営はどうするのか。

答 市が直営管理するのか、指定管理者制度の継続か、検討しているのか伺う。

答 仮に倒産や撤退の際には、そのときの状況等を踏まえて、

市の指定管理者制度に沿って手続きを進め、必要に応じて議会への報告を行います。

問 市が直営で管理するのか、引き続き指定管理施設として運営するのかが、慎重に検討する必要がありますと認識しています。

答 防災拠点の対応は、指定管理者が行うのか伺う。

問 道の駅は、市の防災計画の中では、救援物資の物流拠点や、応援部隊等の活動拠点に位置づけられています。

答 有事の際は、市や消防、自衛隊、関係機関の活動する場になるため、施設の利用など、指定管理者にも協力してもらいます。
※本会議で反対討論がありました。賛成多数で可決されました。

工事請負契約の締結について（議会の議決に付すべき契約）

《鴨川保育所大規模改修 建築工事》
【契約金額】 2億185万円

問 大規模改修建築工事のスケジュールを伺う。

答 工事期間として、令和6年10月から令和7年10月頃を予定しています。

問 仮設保育所での保育は、令和7年11月頃までを見込んでおり、令和7年11月中に改修後の施設への引っ越しを予定しています。

問 仮設園舎について、使用後の活用方法を検討したのか伺う。

答 仮設園舎は、大規模改修工事を実施するに当たり、保育を継続させることを目的としています。

問 ほかの施設として活用するには、追加の費用等も発生することから、改修工事終了後は、解体を検討しています。

答 ※委員会、本会議で反対討論がありました。

賛成多数で可決されました。

川島桶川資源循環組合の設立について

令和7年4月1日から、川島町及び桶川市のごみ広域処理施設の整備及び稼働後の管理運営並びにこれに附帯する事務を共同処理するため、川島桶川資源循環組合を設立するものです。

問 ごみ処理基本計画を組合で作らないのか。

答 ごみ処理基本計画は、一般廃棄物処理行政の責任を負う市町村が作成するものです。

問 両市町で作成した計画を一部事務組合で作直すことはしません。

問 新ごみ処理施設建設のスケジュールを伺う。

答 設計・建設を令和10年に着手し、5年程度で竣工する予定です。稼働開始は、令和15年を予定しています。

議案審議／採決結果

補正予算

主な質疑は次のとおりです。

〔一般会計第4回〕 《市役所駐車場 整備事業》

9,050万円

市役所駐車場を増設するため、用地買収及び整備工事に要する経費

駐車場を整備する目的と経緯を伺う。

答

令和4年3月に、第2駐車場に防災備蓄倉庫が建てられたことにより、17台分の駐車場が減少しました。この結果、時折渋滞が発生するようになりました。

このたび、市役所前の土地所有者から、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、市に対して、土地の買取りの申出がありました。協議の結果、購入する方針になったものです。

問

価格は適正なのか。公有地の拡大の

推進に関する法律に基づき、土地を購入する場合は、不動産鑑定を行い、地価公示ベースの価格で購入します。この件に関しては、鑑定評価がそのまま購入価格になりません。

《情報システム標準化・ 共通化機器等借上料》

371万7,000円

令和7年度末の自治体情報システム標準化移行期限に合わせ、使用する機器等を借上げる経費

問

情報システム標準化・共通化について伺う。

答

デジタル庁を中心に住民情報システムの共通化、標準化に全国の自治体で取り組んでいます。

桶川市も令和7年度中に標準化、共通化した新しいシステムに移行することを目指しています。

システムを標準化することにより、特定の事業者に過度に依存するベンダーロックインの解消が期待できます。

問

ベンダーロックインは、以前から議会で指摘している。いつまで同じ事業者と契約するのか伺う。

答

住民情報システムの共通化に全国一斉に取り組んでいる状況では、システムの乗り換えは困難と判断しています。

標準化システム移行後に、他の事業者を含めたシステムの選定を検討します。

《新型コロナワクチン 定期予防接種事業》

1億5,780万7,000円

令和6年10月からの接種に要する経費

問

9月1日発行のの広報おけがわに定期接種のことが掲載されているが、予算が可決されていないのに、なぜ載せたのか。

答

表現を工夫するか、予算の議決後に掲載すべきでした。チェックが至らなかったことについては申し訳ないと思っています。

9月定例会で審議された議案とその結果

◆次の議案は全会一致で可決・認定・承認されました。

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第42号	令和5年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第50号	令和6年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第1回）
第43号	令和5年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第51号	桶川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
第44号	令和5年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	第52号	桶川市子育て支援施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例
第45号	令和5年度桶川市公共下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	第53号	桶川市国民健康保険条例の一部を改正する条例
第47号	令和6年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	第56号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
第48号	令和6年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第1回）	第57号	川島桶川資源循環組合の設立について
第49号	令和6年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）		

◆賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 ーは棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新 政 会					おけがわ未来			立憲、国民、維新の会			公明党		ともに生きる会		無党派			
			渡辺まや	砂川和也	糸井政樹	岡安政彦	江森誠一	榊 萌美	須山陽一朗	山中敏正	岡野千枝子	近本あんな	細谷文人	佐藤 洋	にいつま亮	仲又清美	渡邊広美		岩崎隆志	北村あやこ	浦田 充
第46号	令和6年度桶川市一般会計補正予算(第4回)	可	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第41号	令和5年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	×	×	○	○
第54号	指定管理者の指定について(道の駅べに花の郷おけがわ)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	席	○	○	×	×	○	○
第55号	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

産婦人科の誘致について



細谷 文人

立憲、国民、維新の会



問

私も産婦人科が誘致されることを望むところだが、応募期間を、9月30日までに設定した理由は何か。

答

設置にあたっては、県の事前協議が必要となります。こちらの開催が10月のため、そこに間に合うように、この期限を設けました。

問

応募はあったか。

答

誘致目標に期限を設けているか。早期に実現できるように、取り組みを延長するというが、何か新しいアプローチを考えているか。

問

基本的には今の取り組みを継承していきながら、幾つか取

答

り組んでみる必要は出てくるのではと考えております。

問

誘致への取組について、例えば、「開業希望者を対象に市内ツアーを実施する」、「候補地を本市が用意して開業予定者に貸し付けする」、など様々な提案が考えられるのではないかと。

答

本件について市長に伺う。いろいろな取組が考えられると思いますので、その辺については、また今後いろいろな方法についても検討してみたいと思っております。

ICT教育の通信環境について

問

学校内の通信速度が、国の推奨値を満たしていないと聞くが、原因は何か。

答

一概には申し上げられませんが、大容量の動画等を一齐に視聴するような学習が展開された場合に、速度が遅くなるのではないかと考えます。

問

今後、より大容量のデータを取り扱う授業が増えていく可能性がある中、通信速度の遅延は、授業に悪影響を及ぼすと考えられる。ネットワークの改善を図っていく必要があると考えるが、見解を伺う。

答

今後、詳細な調査を行って、調査の結果、必要があれば通信速度について改善してまいりたいと思います。なお、文部科学省において、来年度補助金の対象となるとの情報もございますことから、国の動向を注視してまいりたいと考えております。

居心地が良く歩きたくなる駅東口のまちづくりについて



山中 敏正

おけがわ未来



問

南小跡地等利活用調査による、意向調査結果をどのように捉えているのか伺う。

答

周辺住民の意見として「公園・広場」など、子どもの遊び場や憩いの場としての機能確保や、市民全体のアンケートとして、駅を利用しやすい環境、駅周辺に滞在しやすい環境の充実に求められていたため、利用環境の向上が図られる利活用の方針が必要であると考えています。

問

立ち適正化計画とまちなかウォークアブル推進事業の関係性について伺う。

答

「ウォークアブル推進事業」を立地適正化計画に取組方針として位置づけることで、都市構造再編集中事

問

業に係る補助金を受けることが可能となるものです。本市で考えられる支援を伺う。

答

緑地施設、カーポ装、照明施設や、街路空間等の有効活用、官民が連携した既存ストック(空き家など)の改修などの取組が想定されます。

問

まちなかの賑わいの創出に向けて、ウォークアブル推進事業を進めて行くべきと考えるが、市の見解を伺う。

答

まい創出に向けて、駅東口全体の賑わい創出に向けて、取り組んでまいります。

問

フッ化物洗口について

答

継続実施の医療効果について伺う。2022年に厚生労働

問

省より発せられた「フッ化物洗口マニュアル」によると、歯質の強化、エナメル質の成熟の促進、再石灰化促進と、むし歯の進行抑制、抗菌・高酵素作用があります。

問

学校での集団実施の必要性について伺う。

答

集団で実施することで健康格差が縮小することです。

問

本市におけるフッ化物洗口への取組について伺う。

答

令和5年度の3学期より、桶川東

問

中学校で実施しています。むし歯予防効果について伺う。

答

むし歯保有者の割合が、全学年で大きく減少しています。

問

今後の取組について伺う。教育委員会としては、一校の実績について、市内小中学校と情報共有を図り、学校数の拡大を目指します。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

「物価高騰に負けない。桶川市の支援策を問う」について



岩崎 隆志

公明党



問

物価高騰の影響を受けている市民に対して、桶川市はどのようなサポートを提供しているか。食料品や医療費の補助など、具体的な支援内容について伺う。

答

桶川市では物価高騰に対して、国の経済対策を活用して事業者や市民を支援しています。具体的には、市内の事業者や生産者には、法人には10万円、個人には5万円を支給しています。

また、酪農事業者には成牛1頭あたり1万2500円を支給しています。

次に、市民への支援としては、子育て世帯に対して子供1人あたり5,000円分の桶川市内共通お買い物券を配布しています。

さらに、市内の小中学

校の給食費を2学期から3学期にかけて半額にしていますし、市外の私立などの小中学校に通う児童生徒の保護者にも相当額を給付しています。

また、低所得者世帯には、住民税の均等割非課税世帯や均等割のみ課税世帯に10万円を給付し、18歳以下の子供がいる世帯にはさらに5万円を加算して給付しています。

「桶川市で味わう海の幸。道の駅「べに花の郷おけがわ」で海産物フェアを開催しよう」について

問

来年開業の道の駅「べに花の郷おけがわ」において海産物フェアの実現への決意を小野市長に伺う。

答

市民からも海産

物を含めた道の駅への期待の声寄せられています。

埼玉県は海なし県ですが、圏央道の開通により全国と結ばれる交通の結節点となり、道の駅の可能性が広がっています。

事業者のTTCは静岡県熱海市に本社を置き、神奈川県小田原市で漁港の駅を運営しており、海産物の取り扱いに強みがあります。

この地の利を活かし、道の駅が市民や利用者に親しまれる場所となるよう、引き続き事業者と連携して進めていく決意です。

泉2丁目児童公園のダスト舗装について



渡邊 光子

無党派



問

泉2丁目の児童公園除草は、その年度の組長等が除草にあたる。年度当番の組長によつては綺麗に除草するが、暑さや草取りの経験が無い当番の組長にあつては全く除草が見られず草の繁茂が見られる。昨年度のJR公園除草当番の女性組長は誠にマメに綺麗に除草を行うが、市の執行部は「子どもの出入りが多く草が繁茂しなかつた」と言い放し昨年の女性組長の綺麗な除草に感謝する事はなかつたが、後で事実を知り、除草当番の女性組長に謝つたそう。今年度こそ実情を見て泉2丁目児童公園のダスト舗装を伺う。

答

今年度は、西側地域の施工を考慮しており候補の一つとして

問

泉2丁目のJRアパート児童遊園地を検討しています。他の2か所の児童遊園地は、自治会からの要望を踏まえて、面積等状況を考慮し、早期に着手できるように検討してまいります。

地震ブレイカー補助金について

問

地震時の感震ブレイカーの必要性は桶川広報にすでに記載済みという。研究と言わず、明日来るかもしれない地震に備えて感震ブレイカー設置補助金について結論を伺う。

答

感震ブレイカーは地震災害時の電気系統を起因とする火災を防ぐ有効な手段と認識しています。去る8月8日には、我が国で初めて

の南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意が気象庁から発表され、発表から1週間の期間、巨大地震の発生に備えるよう、政府から特別な注意の呼びかけがありました。現在、特別な注意の呼びかけ期間は終了したが、巨大地震の可能性がなくなつたわけではなく、仮に南海トラフ巨大地震が発生した場合には、埼玉県内でも震度5弱から震度5強程度の地震が発生すると想定されています。このため本市としても、いつ起こるか分からない地震への備えは、これまで同様大変重要であると認識しています。感震ブレイカーについては、住宅の耐震化や家具の固定などの対策と併せて導入することにより、地震や火災に強い住宅の整備ができ、地震災害時でもご自宅での避難も可能になると考えています。先進事例を踏まえ本市に合った方法を研究してまいります。



議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

進行を感じる地球温暖化対策について



砂川 和也

新政会



問

市内の猛暑日の経年変化を伺う。

答

1970年頃までは猛暑日が年間5日程度でしたが、近年では約20日となり、100年間で約17日増加しました。

問

市内の熱中症の発生状況を伺う。

答

令和2年度は34件、令和3年度は30件、令和4年度は53件、令和5年度は64件、令和6年度は、8月末現在で58件です。

問

進む温暖化から市民を守るために、暑さへの備えを伺う。

答

本格的な暑さへの備えは、熱中症警戒アラートに合わせて防災行政無線やメールで注意を呼びかけ、冷房の入った施設、クールオアシスの情報提供を行います。

答

東日本旅客鉄道のオフピーク定期券は、通勤ラッシュを避けるための割安な定期券です。東京デイズニールンドでは、平日は安く、休日が高くする価格設定を導入しています。

問

公共施設等への活用について伺う。

答

利用予約が集中する時間帯のニーズを空き時間に誘導することができれば、多くの方に施設を利用していただけるメリットになると認識しています。

問

人口減少が進む中、施設維持は今後の課題である。施設維持に向けた手法の一つに、稼働率を高める本市のダイナミックプライシングの導入について伺う。

答

ダイナミックプライシングの導入は、決まった時間帯や曜日しか利用できない方が不公平感を抱く可能性がある為、慎重な検討が必要であると認識しています。

安心して暮らせるまちづくりについて



渡邊 広美

公明党



問

特殊詐欺等の対策、AI自動通話録音機の貸出しについて伺う。

答

AI自動通話録音機は、ご自宅の固定電話機と電話回線の間に設置することで、通話中に1分単位で特殊詐欺解析、AIサーバーへ通話録音データが送信されます。AIの解析により、特殊詐欺が疑われる場合、登録した親族等へ、注意喚起が行われます。

問

現在、NTT東日本では、5,000人限定で、AI通話録音機のレンタル料、工事設置費用、月額利用料の無償化を来年3月末まで実施しています。桶川市民の方も対象です。

答

本市でも、効果的な特殊詐欺対策を、引き続き調査研究します。

し、若いうちから自身の健康について意識できる取組は、とても意義のあることだと考えています。

今後は、県内で行われている性の悩みの受皿となるユースクリニクなどの開催状況、他市の事例や、行政の関わりなどを調査します。

予期せぬ妊娠、万一、性暴力に巻き込まれた時の対応を間違わず、正しい知識や思考を身につけた大人になるため、先進自治体では、専門講師を迎え、講演を開催している。

問

改めて、本市の宝である子供たちの将来のため、市長の見解を伺う。

答

子供たちの発達段階に応じた包括的性教育を行うことにより、性や体のことを自分で決め、守ることができるよう権利を学ぶことにつながることから、男女共同参画の視点からの性教育も、大変重要であると考

問

中学生や若者が自身の性や健康に

答

対する正しい知識を取得

問

自身

答

自身の性や健康に

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

停電時の熱中症対策の強化を



浦田 充

ともに生きる会



問

7月27日の落雷による停電が一部地域で数時間に及んだ。上尾市では、停電発生後に熱中症対策として、避難所を開設した。本市では、その時、どのような熱中症対策を取ったのか。

答

停電情報の収集に努めました。停電時間が長期になると、この都市計画マスタープランで、ある程度網羅していると考えています。

問

どのような基準で、避難所開設の有無を判断するのか。

答

開設基準等はありますが、日中など35度を超えるような猛暑日においては、気温湿度などで総合的に勘案して判断します。

問

バリアフリーマスタープラン作成は努力義務だ！

答

令和5年、6年の2か年で第2次都市計画マスタープランの策定に向けて作業を進めています。考え方は、この都市計画マスタープランで、ある程度網羅していると考えています。

問

具体的な細かいバリアが分からない。バリアがフリー化できないのではないかと。

答

バリアフリーマスタープランについては、駅前を造る際に策定している市もあります。本市では、

都市計画マスタープランの考えを基本に、個々のまちづくりの中で1つずつ確認をしていきます。

駅西口のバリアフリー化はデッキの架け替えか取壊しの二択か？

問

ペDESTリアンデッキ改修工事を実施するのに、デッキの存続が未定なのはなぜか。

答

今の補修工事は、橋梁の長寿命化修繕計画に基づくもので、デッキの存続の可否と直接関係はありません。

問

デッキがなくなることもあり得ると言っている中で、マイン側に階段部分のバリアフリー化を求めるのは、非現実的だ。バリアフリーを求めている市民に対してどう説明するのか。

答

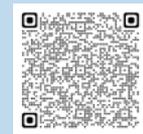
あの状態のデッキでは、バリアフリーになりません。リニューアル時には、バリアフリー化のために建て替えや、残さない方法も考えられます。

事業承継・農業継承について



榊 萌美

おけがわ未来



問

事業承継の課題に後継者不足が挙げられたが、市内事業者の後継者の有無を把握しているか。

答

具体的な数は把握していません。事業承継の悩みがある方に対し、最大限のサポートをするため、市のホームページに、事業承継支援のページの作成ができないか。

答

掲載する方向で検討します。

問

農業継承において、後継者を探している方に適切な支援ができるよう、8・1調査に「後継者を探している」という選択肢を付け加えられるか。

答

次年度以降の調査から、付け加えることを検討します。

問

創業支援・アントレプレナーシップ教育について

問

市内創業の課題の中で、空き物件が少ないことが課題と答弁があったが、今後どのような取組を考えているか。

答

物件を増やす方が難しいと考えますが、賃貸できる空き店舗が出た場合、速やかに情報提供するよう努めます。

問

アントレプレナーシップ教育において、「桶川を盛り上げよう」というテーマを掲げた、桶川東小学校のような社会学習は、市内全校で行われているか。

答

他の学校で同内容の取組があった

かは聞いていませんが、このような取組は大変よいものと考えているので、教育委員会としても情報共有を図ります。

がん検診無料クーポンの実施状況について

問

がん検診無料クーポンの実施状況について

答

子宮がん検診は21歳になる方、乳がん検診は41歳になる方に無料クーポンを配布しています。令和5年度、クーポン券を利用した受診者は、子宮がん検診が対象者331人中16人で、利用率約5%、乳がん検診は対象者411人中94人で、利用率約23%でした。

問

特に子宮がん検診の利用率が低く感じる。健診の内容や子宮がんのリスクを伝えるためにも、プレコンセプションケア全体の普及啓発を行えないか。

答

まずは情報提供から取り組めます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について



須山陽一郎

おけがわ未来



関において購入し、接種を行うため、接種者がワクチンの指定を希望される場合には、医療機関に問合せや相談をしてもらうこととなります。

問

本市における新型コロナウイルスワクチンの健康被害救済制度の申請件数と審査状況はどうなっているのか。

答

令和6年9月6日現在までの申請件数は9件で、そのうち認定審査が終了した件数は6件となっています。

問

本市における新型コロナウイルスワクチン以外の健康被害救済制度の過去全ての申請件数と審査状況について伺う。

答

本市で把握している過去30年間においては、新型コロナウイルスワクチン以外の申請及び審査はありません。

問

今年度の新型コロナウイルスワクチン供給は、5社合計で約3,224万回を見込んでいる。内訳として、ファイザー(株)、モ

問

デルナ・ジャパン(株)、第一三共(株)がmRNAワクチンで約2,527万回、武田薬品工業(株)が組換えタンパクワクチンで約270万回、Meiji Seika

答

ファルマ(株)がレプリコンワクチンで約427万回となっている。

問

市民に対して今回の秋冬接種で使用されるワクチンの種類の周知はどのように行う予定となっているのか。

答

現在の流行株に対応したワクチンであることについては、ホームページに掲載し、周知をしています。

問

接種を希望する人は、自分でどの種類のワクチンを打つか、選択することはできるのか。

答

実施する医療機

障害者支援について

問

「障害者とその親の高齢化」について、市の見解を伺う。

答

社会全体が高齢化する中で、親亡き後の生活に備えることが大きな課題となっているものと承知しています。

問

本市としては、従前から急な介護者の不在、家族の体調不良などに備えたサービスの利用計画を立てることを助言しています。

答

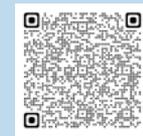
また折を見て、将来に備えたサービス利用を助言するなど、個々の事情を勘案した上で、それぞれの方々の将来を見据えたサービス計画について、助言支援を行い、サポートしています。

孤独、孤立で困っている人へ積極的にアプローチする「アウトリーチ型支援」は必要です



近本あんな

立憲、国民、維新の会



問

孤独、孤立で困っている人へ積極的にアプローチしていくアウトリーチ型支援として、「高齢者安心見守りネットワーク」がある。47の事業者が加入しているが活用されていない。協力事業者向けに定期的なチラシ等を配布し、事業の周知をすべきと考えるが見解を伺う。

答

チラシ等の配布は、事業の確認と周知を図る上で有効な手段であると考えているので、検討します。

問

他自治体では、高齢者だけでなく、障害のある方や子どもも見守りの対象としている。高齢者以外も見守りの対象とする事の見解を伺う。

答

今後、調査研究を進めていきます。

問

困難女性支援法が施行されたが、本市の第五次男女共同参画基本計画には具体的な施策がない。実効的な施策の策定をすべきではないか。

答

困難女性支援法施行にあたり、女性相談員の配置や相談体制の充実を行い、自立のための切れ目のない支援につなげていきます。

問

乳幼児を育てる親へのアウトリーチ型支援として、他市ではオムツ定期便を取り入れている。孤独、孤立対策の観点から本市はどのように考え、実施する場合の予算と課題は。

答

孤立しやすい乳幼児期の子育て世帯への見守りと、育児に

問

その上で再度見解を伺う。事業者のノウハウ等により解消できる可能性はあると認識しています。課題は配達だけではなく、その先の部分も見越した形での訪問支援員の人材確保です。

答

子ども

子どもの最善の利益を確保するための孤独・孤立対策への取り組みについては、大変重要であると認識しています。今後も引き続き多角的な視点を持って、切れ目のない支援体制の強化を図ります。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

当市のふるさと納税事業について



糸井 政樹

新国会



問

当市における、ふるさと納税の出と入りのバランスの推移について伺う。

答

令和4年度では、市外の自治体へ、ふるさと納税をしたことにより生じた市民税の減少額は約1億2800万円、本市のふるさと納税の寄付額は約2,556万円となっております。出と入りの比較では出が約1億2000万円多くなっています。

問

一部の自治体に寄付が偏っている要因と、高所得者ほど恩恵が大きく、都市部から税収の流出も深刻になっている事に対する市の見

答

返礼品は海産物や肉、果物などの

人気が高く、人口が集中する都市部より、海や山等自然が多い地方に産物が偏っていることがあげられます。これにより、一部報道にあるように都市部から地方に税収が流出する結果になっていきます。

また、制度上、市民税等の納税額が高い方のほうが、ふるさと納税による寄付額も大きくなりま

すので、所得が高い方ほど返礼品も高額な物を選ぶ事が可能となります。

この制度は、自主財源の確保という側面もありますが、全国の方々に桶川市のまちづくりや地場産品を広くPRできる機会になることから、引き

続き市内の事業者のご理解とご協力をいただきながら、魅力ある返礼品を取り揃えるなど、より一層の充実に取組んでいきたいと考えています。

桶川市職員数の安定的な確保と健康や職務上の安全確保について

問

身体的心身的に休職している職員数と理由について伺う。

答

現在6名おり、精神的疾患が5名、内科的疾患が1名です。

問

そのような職員に対してのケアは、どのように行っているのか。

答

人事担当や所属長から定期的な体調把握を行い、リハビリ勤務の実施、精神科顧問医による病休中、復職後の定期的な相談の実施などの対応をしています。働きながら通院や治療をしている職員には、優先的に治療が出来るような配慮と時間外勤務の軽減なども行っています。

新型コロナワクチンについて「高齢者」の方や「情報弱者」の方は見てください。



渡辺 まや

新国会



問

本市において、コロナワクチン以外のワクチンの健康被害は0件、コロナワクチンの健康被害の申請者は9件、うち1件は死亡。これは極めて稀に起こる健康被害の数なのか伺う。

答

これまでの予防接種で被害が出ていないという状況から、稀であると考えます。

問

10月から開始のコロナワクチン定期接種は、勧奨をしないという認識でよいか。

答

法律上、勧奨ではありません。

問

勧奨はしていないとのことだが、コロナワクチンを接種すると、健康長寿いきいきポイントが3ポイントももらえるのは、高齢者や情報弱者を誘導している。

答

まだ行っておらず、今後の予定もありません。

問

コロナワクチンは、今までのワクチンと状況が違うので、今後もこの事業を組み合わせるのか再度検討を。

答

今後、検討します。

問

コロナワクチンの副反応に関してや、ワクチンを打ち出したから急に体調が悪くなった方はいないか等の周知をするべきでは。

答

検討します。

問

とは、コロナワクチンや、健康被害の状況に関して意見交換をしたのか伺う。

答

過去にHPVワクチンのようにコロナワクチン健康被害の

訴訟も起きており、薬害とまで言われている。市内医療機関との情報共有や意見交換を必要に感じるが、市長の見解を伺う。

答

市内医療機関と協議する場も設けられればと考えています。

問

子どもの足のサイズに合った靴選びは親にしかできない子育てです。

答

市内の子育て支援施設で子育て会を実施できないか伺う。

答

他の部署にも確認し調整します。

問

福祉タクシー対象外の高齢者の方たちへ早急に移動支援を

答

社協の移送サービス事業の登録料や利用料を市で補助することはできないのか伺う。

答

ご提案も踏まえながら、利用しやすく効果がある支援を今後検討していきます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

学童保育事業の充実と質の確保について



にいつま 亮

立憲、国民、維新の会



問

放課後児童クラブの利用状況について、本市の傾向を伺う。

答

全国的な傾向と同様で、1・2年生で全体の半数を超えており、低学年での需要が高い傾向となります。また、高学年の利用についても年々増加しています。地域別では、近年、区画整理事業が完了した桶川西小学校区及び桶川東小学校区での需要が高い状況になります。

問

長期休暇を活用した利用状況について伺う。

答

本年度の夏休みなどの利用申請された児童数は49人、その内43人が希望するクラブでの利用となりました。残り6人は他の公営クラブや民営クラブを案内

し、他の公営クラブを2人の方が利用され、最終的に利用されなかった方は4人となります。

実際の利用状況については、夏休みの初日である7月20日時点での実登録人数が全体で623人、土曜日を除く平均出席率は、各クラブ平均50から60%程度となっています。

問

国から発信されている放課後児童対策パッケージの内容を、施策へと落とし込む事への市の見解を伺う。

答

こちらのパッケージについては、早期の放課後の児童の受皿整備のため、令和5、6年度に取り組みべき内容を取りまとめたものです。主な内容として、「放課後児童クラブの受皿整備等の推進」、「多

様な居場所づくりの推進」等が示されています。本市としても、児童の放課後の過ごし方のニーズを精査した上で、国の施策に沿い、学校や関係機関等と連携を図りながら必要な整備を進め、市全体で子供の居場所を確保できるよう取組を進めてまいります。

放課後児童対策パッケージの内容の中で、「利用する子供や子育て当事者の意見を聴取し、反映するよう検討していくことが求められる」とあるが、市の見解を伺う。

答

子ども・子育て支援計画の多くは、今年度策定年度となっております。放課後の過ごし方ということで、小学校5年生全員のアンケート実施や、児童館等に出向いてのヒアリング等も行いたいと考えています。当事者からの意見も、子供たちからの話も聞きながら、計画を策定していきます。

桶中事件。対応の悪さを反省し、自ら公表すべき



北村あやこ

ともに生きる会



問

教師が、ケガで痛がる生徒を放置し、顎の骨折が判明した。教師は学校にも報告せず、保護者や生徒にもけがの状態の確認もしない、信じられない事件だ。その後、マスコミに出たことで、新たないじめや差別的雰囲気が生じている。教育委員自ら公表すべきだったのでは。

答

内部で聞き取りの最中に新聞報道がされ、学校は直ちに保護者説明会を開きました。しかし、当日の状況等を確認し、被害児童生徒等の保護者への対応と説明、記者会見を含む公表を迅速に行うべきでした。事故が発生してから新聞報道まで4月29日の事故

不祥事は自ら公表を

市民からの電話で、市の課税ミスが判明した。過去5年間で課税ミスは何件か。

答

市税と保険料、介護保険料で181件です。

問

大変な量だ。税金は取られ、間違ったら謝りも公表もしない。市政への信頼のため、きちんと公表すべきだ。

答

市の仕事に、全く信頼を損なっている状況と認識しています。再発防止と公表は、再検討したいと思っています。

教育委員会の回答資料(抜粋)

桶川中学校における学校事故の経緯と、マニュアル(文部科学省「学校事故対応に関する指針」)に示された対応の流れとの比較		
マニュアル(文部科学省「学校事故対応に関する指針」)	日付	経緯
(1) 事故発生直後の取組		
ア) 応急手当ての実施	-	-
イ) 被害生徒等の保護者への連絡	-	-
ウ) 現場に居た生徒等への対応	-	-
(2) 事故発生直後～事故後1週間程度		
エ) 危機対応の態勢整備	-	-
オ) 被害生徒等の保護者への対応	-	-
カ) 学校設置者(教育委員会)への報告、支援要請	5月10日	学校、事故速報を提出
キ) 国への一報	-	-
ク) 基本調査の実施	5月10日	学校、事故速報を提出
ケ) 保護者への説明	-	-
コ) 記者会見を含む情報の公表及び関係機関との調整	-	-

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

桶川市の人口動態について



江森 誠一

新政会



問

第一期総合戦略で、平成27年度から令和5年度まで計画を延長して、人口ビジョンに基づき令和6年1月1

答

この要因は、複数あるものと考え

問

自然動態が、平成21年から令和4

答

自然動態は、出生数と死亡数の差

問

治水対策について

江川改修計画に

答

おける水理解析の進捗状況を伺う。
水理解析については、結果が出ています。

問

江川改修計画の要望書を10年以上に渡り県へ提出しているが、県の対応を伺う。

答

江川の改修については、県も危機感を持っています。今後、も事あるごとにきちんと伝えていきます。

問

下日出谷西調整池の再掘削計画について伺う。

答

令和5年度にどのような整備を進めていくかを検討し、今ある現況の掘削を進めることで方針が決まりました。

今後、詳細設計について進めていき、来年度以降に、順次工事に着手して行ければと考えています。

表紙の写真を募集中!!



あなたが撮影した
写真を表紙に
掲載します!



『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。

応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。

お待ちしております。



桶川市議会のインターネット中継について

市議会では、インターネットによる議会中継を行っています。

ライブ中継では、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、議会での審議や常任委員会の様子がリアルタイムで、どこでもご覧いただけます。

また、本会議は開催日から1週間程度、各常任委員会は開催日から2週間程度で録画中継を行っています。

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコードから検索してください。

桶川市議会スマート中継

検索



定例会のお知らせ

12月定例会は12月3日(火曜日)
9時30分開会で、会期日程は以下の予定で調整中です。

(※都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

12月3日	開 会 日
6日・9日・10日	常任委員会
11日~13日・16日	一 般 質 問
18日	閉 会 日

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により
声の市議会だより(紅花の会)
点字版市議会だより(点字レモンの会)を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211 (代表)
788-4963・4964 (直通)

9月議会本会議傍聴者数 インターネット議会中継閲覧数

月日	8/30	9/4	17	18	19	26	合計
傍聴者(人)	0	0	7	14	31	0	52
閲覧数	725	857	595	520	659	1,061	4,417

編集後記

今年の記録的な猛暑が姿を消し、山々の衣替えを楽しむ季節になりました。残り2ヶ月ほどの今年は、さまざまな記録が誕生した年になりました。パリ五輪のメダル数、そして、赤から青にユニホームの色を変えた大谷選手の偉業の数々は、野球の歴史に残る記録更新になりました。

来年は、紅をシンボルとした道の駅開業が控え、また、桶川飛行学校は開業から5周年を迎えます。2つの魅力が多くの方に届き、新たな記録に紅が輝くことを期待します。

(砂川和也)

議会だより編集委員会

委員長	にいつま亮
副委員長	浦田 充
委員	渡邊 広美
委員	渡邊 まや
委員	砂川 和也
委員	榊 萌美
委員	佐藤 光洋
委員	渡邊 光子

市民と議員の懇談会

開催のお知らせ

懇談テーマ

「東口を中心とする駅周辺開発について」
「新ごみ処理施設建設とごみ処理方法について」

開催日時

令和6年11月9日(土曜日)
午後2時00分～(1時間半程度)

開催場所

桶川市民活動サポートセンター

※ショッピングセンター「ベニバナウォーク桶川」1階です。
(桶川市下日出谷東2丁目15番地の1)

当日の内容

- ①令和6年9月(第3回)定例会の報告
- ②懇談その1「東口を中心とする駅周辺開発について」
- ③懇談その2「新ごみ処理施設建設とごみ処理方法について」

※②③は、少人数のグループに分かれ、気軽に対話するワークショップ形式で行います。

申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

主催:桶川市議会 / 問合せ先:桶川市議会事務局 048-788-4963

市民の皆様のご参加をお待ちしています!



桶川市マスコットキャラクター
オケちゃん